

第127回 日本小児科学会甲信地方会 プログラム

日 時：令和3年11月7日（日）12:00～17:07

開催方法：サテライト会場とリモート参加のハイブリッド開催

1. サテライト会場：①山梨県会場（山梨大学 医学部 臨床大講堂、小講堂）

②長野県会場（信州大学 医学部 臨床棟2階 第一臨床講堂）

2. リモート参加：ZOOM利用

事前の申し込み（10月24日（日）締め切り）と会費振込が必要

会 長：山梨大学医学部小児科 犬飼岳史

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 (TEL 055-273-9606)

年会費：会員2,000円 初期研修医無料 非会員参加費2,000円

●会場案内●

【山梨 サテライト会場】

山梨大学 医学部 臨床大講堂、小講堂

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110

(TEL055-273-1111)

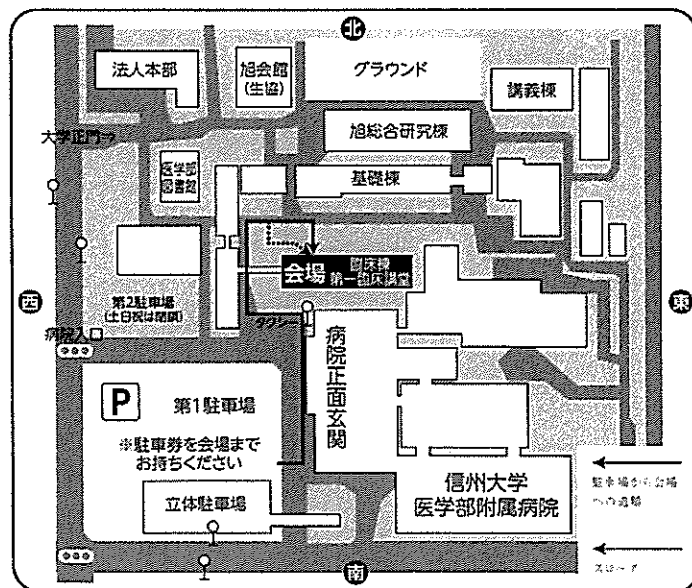
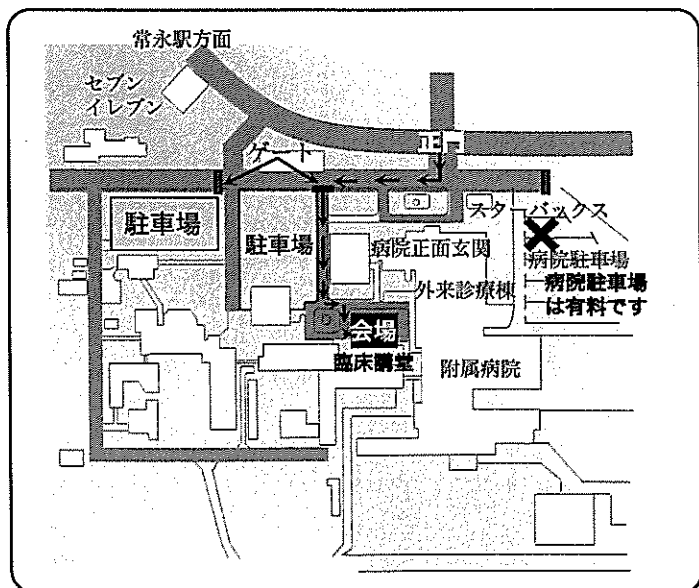
【長野 サテライト会場】

信州大学 医学部 臨床棟2階 第一臨床講堂

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(TEL0263-37-2642)

※病院正面玄関からは入らないでください



附属病院正面玄関からの入場は不可です。

お車をご利用の方へ

病院駐車場をご利用ください。入場の際に発券された駐車券を、受付までお持ちください。駐車料金が200円になる割引券をお渡しします。

ベビーカー等ご使用の方へ

臨床棟北西に、1回入口に通じるスロープがありますので、ご利用ください。

臨床棟西側1回入口を入りますと、すぐにエレベーターがあります。

学会受付は2回東側です（エレベーターのある反対側）。

[13:00~14:00]

座長 山梨大学小児科 教授 犬飼岳史

特別講演

「アレルギーの時間医学」

山梨大学医学部免疫学講座 教授

中尾篤人 先生

一般演題

セッション1 [14:30~15:02]

座長 信州大学医学部小児医学教室 師川紘一

1. 発熱なく急速に内頸動脈が閉塞した高安動脈炎の1例

山梨大学医学部小児科¹⁾、山梨厚生病院小児科²⁾

○小林杏奈¹⁾、中澤瑞葉¹⁾、金井宏明¹⁾、後藤美和¹⁾、小林浩司²⁾、沢登恵美¹⁾、犬飼岳史¹⁾

13歳女児。断続的な右頸部痛や腫脹、圧痛のため受診。発熱や倦怠感などの全身症状に乏しく、炎症反応上昇は軽度であるにも関わらず、数週間で右内頸動脈が完全閉塞した。数か月後に再燃し右総頸動脈壁肥厚を認めた。確定診断や治療開始時期判断に難渋した。

2. 若年性皮膚筋炎 (JDM) の1男児例

韮崎市立病院小児科¹⁾、横浜市立大学小児科²⁾

○齋藤衣子¹⁾、藤岡かおる¹⁾、溝呂木園子¹⁾、野澤智²⁾、東田耕輔¹⁾

繰り返す発熱、関節痛を主訴に近医から紹介入院した3歳男児。入院時には関節痛は認めなかったが、頬部の皮疹と手掌の水疱疹を認めた。入院後に膝関節、足背に内出血を伴う赤色紅斑の出現・消退を繰り返した。抗MDA5抗体陽性が判明しJDMと考えられた。

3. 当院で経験したシトリン欠損症の3例

飯田市立病院小児科¹⁾、信州大学医学部小児医学教室²⁾

○竹内詩緒¹⁾、堀江史俊¹⁾、峰村優¹⁾、塚原孝典¹⁾、嶋田和浩¹⁾、萩元緑朗¹⁾、佐渡智光²⁾、倉沢伸吾²⁾、加藤沢子²⁾、中山佳子²⁾

1例目は4か月男児、乳児健診で体重増加不良と肝腫大、黄疸を指摘された。2例目は3か月男児、灰白色便がみられた。3例目は1か月女児、1か月健診で体重増加不良を指摘された。3例とも新生児マススクリーニング検査は正常だが、精査にて診断に至った。

4. 発熱を契機に診断された先天性腎性尿崩症の2か月男児例

大町総合病院小児科¹⁾、市立甲府病院小児科²⁾、山梨大学医学部小児科³⁾

○小田切祐一¹⁾、中西太²⁾、古本雅宏²⁾、伯耆原祥²⁾、青山香喜²⁾、沢登恵美³⁾

生後2か月の男児。発熱を主訴に受診した。感染兆候は無かったが高ナトリウム血症と希釈尿を認め、各種精査により腎性尿崩症を強く疑う結果であった。サイアザイド系利尿薬と塩分制限で高ナトリウム血症は改善した。今後遺伝子検査を予定している。